

R 4 不祥事根絶のための行動計画

重点内容 ◎交通法規の遵守

◎体罰，わいせつ・セクハラ的行為はしない

◎個人情報管理の徹底

区分	教職員の規範意識の確立	学校組織としての 不祥事防止体制の確立	相談体制の充実
本校の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○多様な事案・方法を盛り込んだ研修・取組を実施し，当事者意識を持つ。 ○不祥事防止委員会が，研修・出張・行事等により予定通り開催できにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な資料や形態での研修を実施できるようになった。当事者意識をより高く持てるような研修方法の工夫が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童面談により，事案の把握につながったこともあった。相談体制をさらに充実させていく必要がある。
行動目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ロールプレイ・演習・協議など体験的かつ教職員の思いや考えをアウトプットできる研修を取り入れ当事者意識を高める 	<ul style="list-style-type: none"> ○不祥事防止委員会で，当事者意識をより高く持てるような研修資料・研修の持ち方等を協議する。 ○効率的な学校運営を行って時間的余裕をつくり教職員の負担を軽減する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○セクハラ相談窓口とＳＣ相談日を周知する。 ○毎学期の教職員による児童面談を実施する。 ○相談しやすい環境や雰囲気をつくる。 ○衛生委員会での状況把握
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○学期１回の教職員面談をして，個人・職場全体の状況を把握し個別指導する。 ○交通事故時の対応をカード化し，携帯する。 ○個人情報持ち出し簿によるチェック・整理整頓・データ整理を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○全教職員が研修企画・運営を行うよう分担する。 ○ヒヤリ・ハット事例等を盛り込み研修を充実させる。 ○学期１回の児童・保護者アンケート及び児童面談を実施する。ＳＣの活用。 ○情報持ち出し簿への記録・返却確認を確実に行う。 ○不祥事防止委員会は優先的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○セクハラ相談窓口とＳＣによる相談について学校便り，ＰＴＡ集会等で周知する。 ○必要に応じて，個別に相談を勧める。 ○衛生委員会で教職員の状況を把握する。
点検方法・ 時期	<ul style="list-style-type: none"> ○毎月の不祥事防止委員会で，研修方法や内容等を改善する。 ○学期１回のチェックリストを活用した意識・状況調査を行い規範意識の向上を把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○不祥事防止委員会で，取組や現在の状況について把握する。 ○取組後の状況把握を確実に行う。 ○アンケート・面談の結果分析の記録を残す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○相談日・相談内容を記録する。 ○毎月の不祥事防止委員会で状況を把握する。